

デジタル療法・治療用アプリ分科会

1. 分科会の目的

国内外におけるデジタル療法に関する調査、治療アプリを活用した新たな診療モデルの検討、アプリを用いた新たな臨床研究の推進やサポートを行う。

2. 令和 6（2024）年度活動実績と成果

第 28 回日本遠隔医療学会学術大会（2024 年 11 月 9 日、岡山）ワークショップ「遠隔医療の未来（モニタリングデバイス、制度）」にて、オンライン診療のデメリットを補完しうる医療機器、治療アプリのオンライン診療における役割などについて「治療アプリを活用したオンライン診療」という演題名で講演を行ったほか、同学会で一般演題「遠隔医療の評価」の座長を務めた。

3. 令和 7（2025）年度活動計画

- 1) 普及啓発：国内外での他の学会での、治療用アプリ・デジタル療法に関する発表など。
- 2) 診療モデルの検討：デジタル療法に関する適正使用指針作成に向けて、分科会で協議する。
- 3) エビデンスの創出：治療用アプリやオンライン診療や IoT デバイスなどの各種臨床試験でのエビデンス構築に努める。